

2025 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

民事法学・公法学専攻（英 語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

以下の英文を和訳しなさい。

(Marbury v. Madison, 5 U.S. 137 (1803), 176-178)

答案用紙別紙

2025 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

政治学専攻（英 語）

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

次の英文を日本語に訳しなさい。

（出典：Edward Hallett Carr, *The Twenty Years' Crisis, 1919–1939: An Introduction to the Study of International Relations* (New York: Perennial, 1964), pp. 119-120.)

（注）一部修正してある。

2025 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

民事法学・公法学専攻（日本語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

- 翻訳に関する以下の文章を読み、問いに答えなさい。
- 問一 傍線部①はいかなる意味か、説明しなさい（五～十行程度）。
- 問二 傍線部②はいかなる意味か、説明しなさい（五～十行程度）。
- 問三 傍線部③のように言える理由は何か、推測して説明しなさい（五～十行程度）。

（和田忠彦「声をさがしつけて」岩波書店編集部編『翻訳家の仕事』（岩波書店、2006年）所収より。出題に当たり、構成及び表記を一部改めている。）

2025 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

政治学専攻（日本語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

天皇について書かれた次の文章を読んで、問一から問三に答えよ。

問一、傍線部（一）「天皇の視覚化」が意味する内容を二百字程度で説明せよ。

問二、傍線部（二）「民衆レヴェルの政治的経験」が意味する内容を「事実」という言葉を用いながら二百字程度で説明せよ。

問三、傍線部（三）「比喩のたわむれ」が意味する内容を著者の用いている具体例を引用しながら三百～四百字程度で説明せよ。

（出典 多木浩二『天皇の肖像』岩波書店、二〇〇二年、四～十二頁より。ただし、出題にあたって省略した箇所がある。）